

2022年12月7日



2022年「グローバル協力訓練枠組み」(GCTF) 合同委員会 共同声明

2022年12月7日、台湾外交部、台湾米国協会(AIT)、日本台湾交流協会(JTEA)、豪州弁事処は、第8回GCTF(グローバル協力訓練枠組み)合同委員会を開催した。会議では、台湾、米国、日本、豪州の代表が本年のGCTFの活動を振り返り、対面形式でのGCTFワークショップに戻るにあたり、優先的に協力すべき分野について意見交換を行った。

GCTFはプラットフォームとして、台湾が志を共にするパートナーと協力してグローバルな課題に共同で取り組み、世界とその専門知識を共有することを可能にしている。2015年6月1日にGCTFが設立されてから、我々は55回の国際ワークショップを開催し、120カ国以上から合計6,000人以上の政府関係者や専門家が参加している。

今年、台湾、米国、日本、豪州が達成した成果を誇りに思う。2022年は、英国、EU、カナダ、スロバキア、イスラエル、オランダ等、様々な共催パートナーを迎えて、オンライン又はハイブリッド形式のGCTFイベントを7回開催し、成功を収めることができた。トピックは多岐にわたり、デジタル犯罪、ジェンダーに基づく暴力、公衆衛生、持続可能な海洋、スマート農業、持続可能な開発、持続可能な航空を含む様々なグローバルな課題を取り上げた。

また、今年のフランチャイズGCTFでは、インド、セントルシア、イスラエルで3回開催し、デジタル・ヘルスケア、女性の地位向上、デジタル・エコミーに関するトピックを取り上げた。

来年は、GCTFの協力範囲を引き続き深化・拡大させる予定である。パンデミック対策、持続可能な開発目標、持続可能な航空、法執行協力、人道支援と災害救助、インターネットの自由、海上災害等に取り組むためのワークショップを開催する計画である。

2022年12月7日

我々は、志を同じくする同盟国が私たちの仲間となり、GCTFの下での協力範囲を拡大することを歓迎する。

外交部長

吳釗燮

米国在台協会所長

サンドラ・オードカーク

日本台湾交流協会台北事務所代表

泉裕泰

豪州弁事処

ジェニー・ブルームフィールド